

新たな情報通信技術戦略の策定に関する意見

1. 個人／団体の別：個人
2. 氏名／団体名：非公開
3. 連絡先：非公開
4. ご意見：

<骨子>

重点施策の過半を実現するための共通必須要件でありながら殆どの国民には安全に使いこなすことのできていないパスワード/暗証番号の問題について、官民の衆知を集め「アナログ空間の署名捺印のように記憶力の強弱を問わず老若の誰にでも使いこなせる簡便な電子的本人認証手段」を国民に提供する手立てを講じることが必要と考えます。

<理由>

サイバー空間ではパスワード/暗証番号に一切頼らずに個人認証を行うことは考えられません。トークン照合あるいは生体照合を使う場合であってもパスワード/暗証番号は必ず併用しなければならない共通必須要件です。PKIによる電子署名や証明書を利用する場合であっても、その承認行為ないし活性化行為として必ず当人のパスワード/暗証番号の入力が求められます。

「医療情報・年金情報・その他の高度プライバシー情報を含む貴方の個人情報ネットワーク上で保管されます。その情報を改竄や漏洩から守るのは貴方であり、その防御手段は貴方には安全に使いこなせないと判っている貴方のパスワード/暗証番号です。」はホラーストーリーです。

現在のパスワード/暗証番号の悩みは選択肢が文字数字しかないことに大きく由来します。文字数字に加えて画像など全ての視覚対象(将来的には聴覚・触覚対象も)を扱える拡張型パスワードシステムによる問題解決の可能性について、更には、こうした拡張型パスワードシステムによるシングルサインオン方式個人認証サービスの可能性について、重点施策の実施に並行して、望ましくは先立って、検討されることが望ましいと考える次第です。

以上